令和７年度
スクール・エンパワーメント推進事業　取組み成果リーフレット

テーマ：自ら課題を見つけ、解決するために進んで学ぶ児童の育成

言語能力をはぐくむモデル校
四條畷市立忍ケ丘小学校

つけたい力

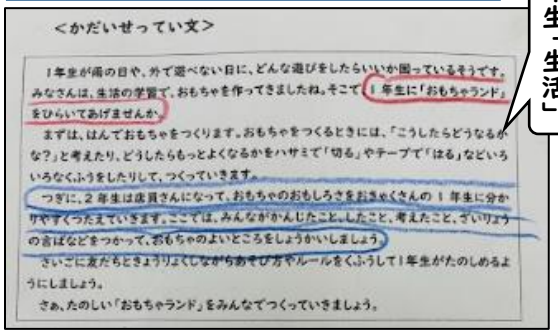
①課題を自分事として捉え学びに活かす力
②語彙を集め、使う力
③情報を集め、整理、表現する力

取組みの概要・ポイント

①課題設定文の活用を通して、探究の素地を養う
②語彙表の活用から適切な表現を選んだり、表現の幅を広げる
③学校図書館を中心とした取組みで、情報収集・整理する力を養う

具体的な取組みの内容

①課題設定文の活用


<かだいせってい文>

１年生が雨の日や、外で遊べない日に、どんな遊びをしたらいいか困っているそうです。みなさんは、生活の学習で、おもちゃを作ってきましたね。そこで１年生に「おもちゃランド」をひらいてあげませんか。

まずは、はんでおもちゃをつくります。おもちゃをつくるときには、「こうしたらどうなるかな？」と考えたり、どうしたらもっとよくなるかをハサミで「切る」やテープで「はる」などいろいろなくふうをしたりして、つくっていきます。

つぎに、２年生は店員さんになって、おもちゃのおもしろさをおきゃくさんの１年生に分かりやすくつたえていきます。ここでは、みんながかんじたこと、したこと、考えたこと、ざいりょうの言葉などをつかって、おもちゃのよいところをしょうかいしましょう。

さいごに友だちとさぎょうりょくしながらあそび方やルールをくふうして１年生がたのしめるようにしましょう。

さあ、たのしい「おもちゃランド」をみんなでつくっていきましょう。

２年生「生活」

学習の【目的】・【状況】・【評価】・【作品】・【相手】の5つの項目を盛り込んで作成

児童にとってリアルな学習の設定を意識

【課題設定文の活用はこんなことも!!】

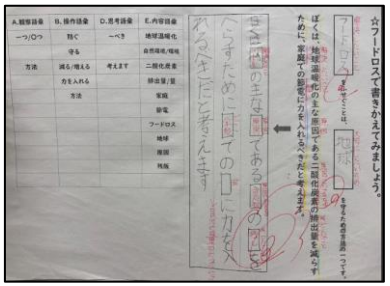
☆課題設定文から、目標設定が可能！
☆伝え方をどんな方法にするか一緒に考える！
☆学習計画とリンクさせて学びを見える化！

②語彙表の活用

（1）自分の伝えたいことに合わせた表現を選択したり、学習用語を使って学びを深める役割

２年生「算数」の学習で【四角形の紙を直線で2つに切った際にできる図形】を説明する際、「頂点と頂点を通るように切ると三角形が2つできる」と児童は算数の学習用語を語彙表から探し、説明する様子が見られた。

（2）語彙構造を学び、その構造を活かして自分の説明を書く力を養う



評価規準モデルから語彙構造を発見し、概念的理解を深める活動を行った。どのような語彙が使えるのか考え、前後の文脈を捉えながら評価規準モデルを書きかえることができた。

③学校図書館を中心とした活用

（1）図書委員を中心としたイベント

「読み聞かせイベント」では、日替わりで読み聞かせを楽しむ機会が増えた。また「調べ学習イベント」では挑戦状に記された謎を解き楽しむ様子が見られた。ペア学年で教え合う様子も見られた。

（2）図書館活用を促す教職員研修

本だけでなく、紙芝居を日常的に活用できるよう講師の先生から読み方、楽しみ方を学んだ。
また、百科事典研修を行い学びの広げ方を職員全体で学び活用した。

忍ケ丘小学校ポータルサイトにて学習ツール・校内の取組み、学習掲示などを確認していただけます。

取組みを通しての子どもの変容

①語彙表を見て、その中から使う意識が増えた。
②学習語彙を使うことで、抽象的だった表現も具体的な表現に変化していった。
③振り返りなどを書く際にも活用し、書くことに抵抗がある児童も書けるようになってきた。
④「読書が好き」な児童が昨年度より約10%増加。